

# 「中之島アゴラ構想」基本方針（素案）

## コンセプト

産学官の連携により、“大阪大学の知”を中之島で交差させ、文化・芸術・学術・技術のあらたな交流・発信拠点となる“中之島アゴラ”の形成を推進する

### “中之島アゴラ”の意義

- 財界や市民の支援によって生まれた大阪大学が、発祥の地である中之島において、大阪の魅力向上に寄与する。
  - ◎ 世界に向けた社会的価値の創造
    - 大阪大学中之島センターでの蓄積を活かした、さらなる社学連携の展開
  - ◎ 中之島エリアのブランド化とシビックプライドの創出
    - 国立国際美術館・市立科学館・(仮称)大阪新美術館の形成する“ミュージアムトライアングル”との連携・調和
  - ◎ 後続するまちづくり計画への波及
    - 中之島エリアにとどまらず、関西全体のまちづくり・産業創出に寄与

### “大阪大学の知”の特徴

- ◎ 国立総合大学としての高いポテンシャル
  - 優れた人材、卓越した教育研究内容を有する我が国屈指の研究型総合大学。学部学生数は国立で最大。
- ◎ 産学連携における先進性と高い研究力
  - 全国の大学に先駆けて「共同研究講座」等を設置し、「Industry on Campus」構想を実現。「革新的な大学ランキング」（2015年ロイター社）では世界18位、国内第1位。
- ◎ 世界と繋がるネットワーク
  - 企業や市民が大阪大学と繋がるだけでなく、大阪大学が持つ国内外への強力なネットワークを通じて、中之島から世界に直接繋がる。

## 拠点イメージ



### 拠点の機能

#### 社学共創拠点

- 大阪大学中之島キャンパス社学共創拠点の強化
- 地域社会やその諸機関との連携による人材育成機能・社学共創人材ネットワーク構築
- 自治体・企業等との連携による社学連携のグローバル化

#### アート拠点

- 大阪市立新美術館との研究教育連携など社学共創型アートリサーチと共創事業の推進
  - 海外の芸術系諸機関との連携推進などグローバルネットワーク構築とグローバル人材育成
  - 学生・社会人アートファシリテーター育成などアート関連教育と芸術・情報発信事業
- ※大学スタッフ15名程度で形成、その他学生50～60名程度が日常的に学び活動する。

#### 産学共創クロスイノベーション拠点

- 大阪大学の研究所群の資源・サービスのワンストップ拠点の形成や企業との共同研究ユニット、アウトリーチセンターの導入などオープンイノベーションの加速
  - 産学共創によるイノベーション人材の育成や高度医療人材育成プログラムの拡充
  - 健康・医療クロスイノベーション会議との連携
- ※大学スタッフ110名、企業スタッフ50名程度で形成。

#### 再生医療国際拠点候補地

敷地 約 7,500㎡

敷地 約 1,000㎡

(延床面積 約 8,200㎡)

#### 社学共創拠点 〔大阪大学 中之島センター〕

※既存中之島センターを活用  
事務室、会議室、展示スペースなど

敷地 約 4,500㎡

(延床面積 20,000～25,000㎡程度(共有部含む))

#### 産学共創 クロスイノベーション拠点

基盤研究施設、共同研究室、技術室、展示スペース、交流スペースなど

#### アート拠点

各種ホール、稽古場、工房、ライブ러리・アーカイブ、研究室など

アゴラ構想対象敷地 約 12,000㎡

(大阪市有地)

## スケジュール

※今後の検討状況によって変わる可能性がある。

2017 (H29) .3

基本方針(案)策定

#### 具体化の検討

〔施設計画  
(規模・配置等)  
・整備スキーム  
・運営スキーム 等〕

2018 (H30) .3

基本計画(案)策定

2018 (H30) 年度

基本設計・実施設計

施設整備工事

2021 (H33) 年度以降

施設オープン